

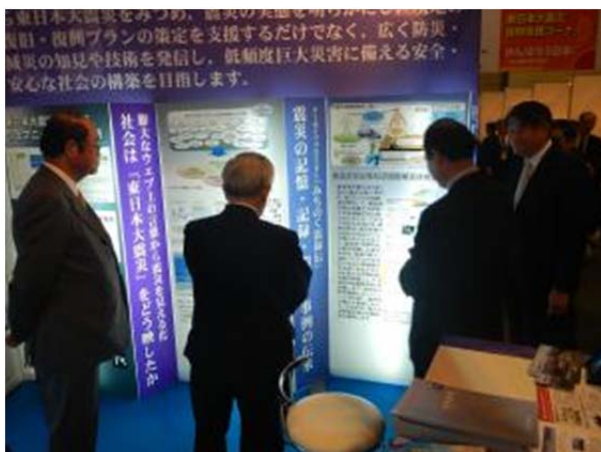
メッセナゴヤ 2011 に本学から出展しました(2011/11/9-12)

11月9日(水)～12日(土)の4日間、ポートメッセなごや(愛知県名古屋市)にて、メッセナゴヤ2011が開催されました(主催:愛知県,名古屋市,名古屋商工会議所)。このイベントは、愛知万博の理念(環境,科学技術,国際交流)を継承する事業として2006年にスタートし、業種や業態の枠を超え、幅広い分野・地域からの出展を募り、出展各社の販路拡大や人脈形成を図ることを目的にした日本最大級の異業種交流展示会です。本学からは昨年度、環境科学研究科から出展し、今年度は当センターも所属している「東北大学防災科学研究拠点」からの出展となりました。東日本大震災を中心とした研究・調査の概要や、現在設立を準備している「災害科学国際研究所」の概要等についての出展を行いました。ブースの隣には、「東日本大震災復興支援コーナー」として、岩手県・宮城県・福島県・青森県・茨城県の企業からの出展もありました。

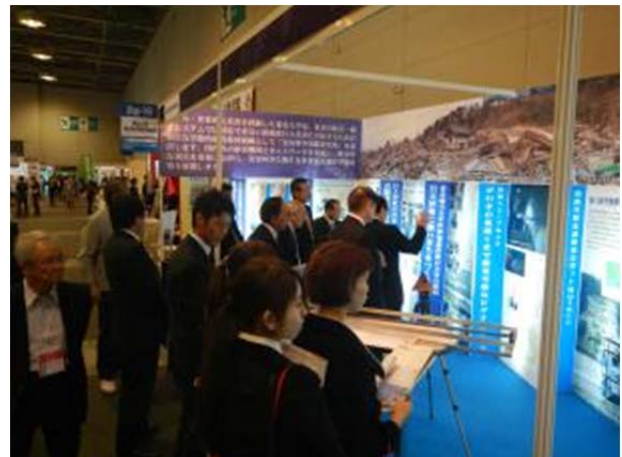
開催地が名古屋ということで、来場された方の中には、想定東海地震の発生の切迫性を懸念し、防災・減災に関心の高い方が多くおられ、活発な質問をする場面が見られました。本学では産学連携を推進していることもあり、企業の方からは大学との連携に関する相談等も多くいただきました。また、本学ブースには株式会社トヨタの豊田名誉会長や村井宮城県知事等にも足を運んでいただきました。イベントには会場全体で5万人の方がおとずれ、本学ブースにも1,000人を越える方々に足をとめていただきました。パネルの説明用に用意していた配布資料も一部がなくなってしまうほどで、大盛況のうちの出展を終えました。



本学ブースの全景(パネル14枚,津波シミュレーション動画,地滑り検知機器)



トヨタ名誉会長が本学ブースを訪れました
※次ページにパネル名の一覧があります。



多くの方に足を運んでいただきました

- ① 観測史上例の無い巨大変動を作った地震だった（地震・噴火予知観測研究センター・藤本教授）
- ② 「津波」の由来・メカニズム・痕跡（災害制御研究センター・菅原研究員，今村教授）
- ③ 貞観津波・東北地方太平洋沖地震による仙台平野の浸水域（災害制御研究センター・菅原研究員，今村教授）
- ④ 巨大津波に強いまちをつくるために（災害制御研究センター・今井助教，今村教授，越村准教授，佐藤翔輔助教）
- ⑤ がれきの奥深くまで探査可能なビデオスコープ（情報科学研究科・田所教授，昆陽准教授）
- ⑥ 3.11の地震で被災した福島原発の調査で活躍（情報科学研究科・田所教授，大野准教授）
- ⑦ GB-SARで地滑りを捉える（東北アジア研究センター・佐藤源之教授，横田助教）
- ⑧ 宮城県・荒砥沢での地滑りモニタリング（東北アジア研究センター・佐藤源之教授，横田助教）
- ⑨ 脳科学で読む災害時の認知・行動（加齢医学研究所・杉浦准教授）
- ⑩ 災害から「ふるさとの歴史」を守る（東北アジア研究センター・平川教授，佐藤大介助教，蝦名研究員，天野研究員）
- ⑪ ふるさとの「歴史遺産」を未来へ（同上）
- ⑫ 社会は「東日本大震災」をどう映したか（災害制御研究センター・佐藤翔輔助教，今村教授）
- ⑬ 震災の記憶・記録・知見・事例の伝承（災害制御研究センター・柴山助教，佐藤翔輔助教，今村教授，文学研究科・阿部教授，電気通信研究所・本多研究員）
- ⑭ 英知をあわせて巨大災害に立ち向かう（東北アジア研究センター，災害制御研究センター・今村教授，佐藤翔輔助教）

下線は当センターからの出展